

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	京都府立舞鶴こども療育センター 児童発達支援・放課後等デイサービスひかり		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 6日		2025年 12月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 6日		2025年 12月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 9日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	適切な支援の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の皆さま、お子さんとの面談を通じ個別支援計画作成に反映しています。個々に応じて面談の回数を増やすなど迅速な相談対応を心掛けています。 ・医療ケアを必要とするお子さんの支援として、ご自宅でされているケアの手技など丁寧に聞き取り可能な限り同じような対応をしています。また、体調の変化や医療受診による指示内容の変更などの情報も共有しています。 ・今年度は年4回の保護者参観行事を計画しお子さんへの関わり方の共有や保護者同士の関わりを設けました。 ・今年度は、誰一人取り残されないという職員共通の想いを掲げ、関係機関の方々と繋がりお子さんそれぞれを次のライフステージに導くことにも努めました。 	保護者の皆さまよりいただいたご意見を今後の療育活動に反映していきます。特にお子さん一人一人の個性やご家族の環境などの理解に努めます。小集団活動の中でも一人一人の違う引き出しをあげて、「できた、ちがう、気づいてもらえた、嬉しい」などの達成感を積み重ね心身の豊かな育ちを保護者の皆さまと一緒に歩んでいきます。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	お子さんや保護者への説明	お子さんの育ちの様子や保護者の希望(想い)に対する説明不足、共有不足。	日頃からお子さんの様子を保護者の皆さまと伝えあい、お子さんの育ちの様子や保護者の希望(想い)についてより一層丁寧な説明や助言などを行い共通理解を持てるように努めます。
2	お子さんや保護者への相談援助	お子さん一人一人、ご家族の置かれている状況に応じた個別性のある相談対応不足。	お子さんやご家族が置かれている環境や抱えておられる不安も含めて、様々な出来事や情報で揺れ動く保護者の皆さまに寄り添います。知り得た情報を十分に理解しお子さん一人一人の個別の育ちと一緒に歩んでいきます。